学校番号	3005

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	１単位	年次	２年次 (総合募集の専科)
使用教科書	「新家庭基礎　今を学び 未来を描き 暮らしをつくる」　(教育図書)						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
〇学んだことを自分の課題としてとらえ、よりよい生活を目指しましょう。
〇評価は、定期考査、提出物、授業態度、出席状況などを総合的に判断します。
〇講義は担当教員が作成したプリントを中心に行います。プリントは定期的に点検するので、ファイルに綴じ、期限内に必ず提出してください。

２　学習の到達目標

・人の一生と家族・消費生活・住生活・子どもの発達と保育などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
・家庭や地域の生活課題を主体的に解決できる。
・生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度が育つ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･消費生活･住生活･子どもの発達と保育などについて関心を持ち､その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･消費生活･住生活･子どもの発達と保育などについて､生活の充実向上を図るための課題を見いだし､その解決をめざして施行を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身につけている。	人の一生と家族・消費生活・住生活・子どもの発達と保育などに関する、基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・消費生活・住生活・子どもの発達と保育などに関する、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート、発表、 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート、発表、 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート、発表、 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート、発表、 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	青年期と家族	○これからの人生に向かって ・人の一生はどうなっている ・一生の中の青年期 ・青年期の自立と共生 ・職業の選択 ○家族って何だろう？ ・家族の役割 ・家庭の機能 ・社会の中の家族 ・男女でともに家庭を築く ・法律の仲の家族	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:青年期の生き方、家族家庭の意義や役割、男女平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、また、生涯発達の観点から家族・家庭と社会との関わりについて、課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方、家族や家庭のあり方について、検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について、また生涯発達の観点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題としてとらえるための知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	消費生活・環境	○何をどうやって買う？ ・私たちの消費生活 ・生活情報の活用 ○賢い消費者になろう ・契約で成り立つ消費生活 ・消費者問題の現状と課題 ・消費者信用のしくみ ・消費者の権利と責任 ○暮らしと経済のかかわり ・経済から見た暮らし ・家計の仕組み ・家計を計画的に管理しよう ○環境について考えよう ・私たちの生活と環境 ・低炭素な社会をめざす ・持続可能な社会のために ・私たちの行動が社会を変える	○ ○	○ ○	○	○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と諸以外を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在、および将来の消費生活と経済の計画、管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

後期	住生活	○私たちが暮らす場所 ・住まいの役割 ・空間は同構成されている ○安心・安全な暮らし ・安全に暮らす ・犯罪を予防する ・快適に暮らす ・住居の維持と管理 ・気候風土と住まい ○つながって暮らす ○これからの住まいを考える ・住まいの今 ・住居における持続可能性	○ ○	○ ○	○	○	a:住居と示威環境、安全で環境に配慮した住生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 住生活について課題をみいだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:住居の計画や選択に必要な情報を収集、整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて、科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	保育	○子どもの成長を見つめる ・子どもの成長 ・発育と発達 ・コミュニケーションの発達 ○子どもの世話をしてみよう ・親の役割 ・生活習慣とは ・子どもの健康を守る ・子どもの安全を守る ・子どもと遊び ○子どもを取り巻く環境 ・子育ての現状と問題点 ・子育てを支えるしくみ ・子どもの権利と福祉	○	○	○	○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達と保育について課題をみいだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:子どもと適切に関わったり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	高齢期	○高齢期ってどういう時期？ ・高齢者の心身の特徴 ・高齢者の健康 ・高齢者の生活 ○高齢化する日本を生きる ・高齢化はなぜ起こるのか ・超高齢社会の課題 ○高齢者を支える ・介護保険制度とは ・公的年金制度とは	○	 ○	 ○	○ ○ ○	a:高齢者の生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 高齢者の生活について課題をみいだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:高齢者と適切に関わったり、高齢者の自立支援を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

	生活設計	○目標を持って生きよう ・生活設計とは ・生活資源を活かそう ・人とかかわって生きる	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	 ○	a:生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 生活設計上の課題をみいだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:生活設計をたてる技術を身に付けている。 d:生活設計について理解し実践に必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。